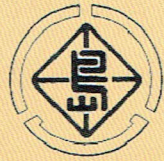


島田公民分館だより
(豊中市立島田小学校校区)
〔第39号〕



しまだ

発行 井原 幸雄
編集 島田公民分館広報部
岸岡 美景
中島 朱美
赤池 正子
松本 桃子

活動の再開を願って(2)



島田公民分館
分館長 井原 幸雄

平素は、公民分館活動にご理解ご協力を賜り篤くお礼申し上げます。

一昨年1月よりのコロナ禍が続き、各種団体の行事や祭り、人の集まる行事は、全て中止、若しくは自粛される中、分館活動も中止を余儀なくされております。このような状況下、「我々の公民分館の活動は・・・」と自問自答の日々を過ごしております。

これまでの活動を見直し、民踊大会・市民体育祭等々の持続可能な行事とする為、改革すべく着手の緒に付いたばかり。又、校区の統廃合による分館活動の有様についても議論が必要だと思えます。

このコロナ禍での2年の空白期間は、地域活動について、各自考え方・感じ方も大きく変化されたように思います。

活動再開時には、皆様方のご意見を出して頂き、地域交流の発展にご協力をよろしくお願い致します。

地域に支えられる学校へ



豊中市立第七中学校
校長 田中 彰治

この原稿を書いているとき(2021年9月)は、大阪の緊急事態宣言は延長され、新型ウィルスによる第5波が全国に広がっています。学校は、手洗い、マスクの着用、密にならないなど基本的な感染防止対策を徹底して、教育活動を継続しています。子ども達の楽しみにしていた宿泊行事や学校行事は中止や規模を縮小して実施しています。

学校行事だけでなく、清掃や夏祭り、スポーツ大会、餅つきなど、地域のみなさんと当たり前のように実施してきた行事も、全く行われないう状況になりました。

地域の中にあつて、地域に支えられている七中ですが、教職員も子ども達も実感する機会が得られないことは残念です。

そんな中、8月18日の新聞に七中の吹奏楽部が金賞を受賞し、大阪代表となった記事が掲載されました。夏休み中、活動制限がある中で、どのクラブも一生懸命努力していました。その一つが吹奏楽部でした。

七中の近くに住んでおられる方が、その記事に赤丸をつけて、祝福に来てくれました。お子さまは七中を卒業し、社会人として活躍されているようですが、七中が金賞を受賞したことを本当に喜んでおられました。

また、毎年地域の事業所を訪問し、職場体験学習を実施してきましたが、去年は感染防止のため中止しました。今年は、働くことの楽しさや大切さを子ども達に伝える機会として、職業講話を企画しています。地域の事業所をお願いしたところ、快く講師を引き受けていただきました。あらためて、地域に支えられている学校と感じました。

子ども達は地域で育ちます。子ども達は地域の宝です。感染が収束したあかつきには、子ども達の成長を地域とともに見守っていきましょう。

島田センターは、 4団体で管理しています



管理運営委員会
委員長 橋本 俊治



空港課では、共同利用施設の管理人が交代のタイミングで順次管理方法を切り替えており、今回島田センターは、令和3年4月より『通い管理』に変わりました。管理は次の4団体、公民分館・社会福祉協議会・島田地区連合会・老人クラブ連合会でを行っています。

- ・ 航空機騒音で日常生活を阻害されている地域(庄内栄町1~5丁目)の人が利用できる施設です。
- ・ 休館日は、月・土日・祝日・年末年始・お盆です。
- ・ 使用時は、使用申込み書(現在完全事前予約制)が必須です。
- ・ 使用後は、必ず使用報告書(指定用紙)を提出してください。
- ・ 開館時は部屋が空いていれば、当日でも使用可能です。
- ・ 年間使用は団体登録の申請が必要です(現在20団体登録済)。
- ・ 航空機騒音対策地区内にお住まいの人は、集会・休養・学習・保育にご利用ください。



最強の連合会へ 前会長 木田 晃史朗

この度、私は体力・気力の限界で、米寿の年を期に、役を降ろさせて頂くことになりました。

島田地区連合会の皆様や公民分館の皆様には、全力でお引き立ていただき、本当にありがとうございました。

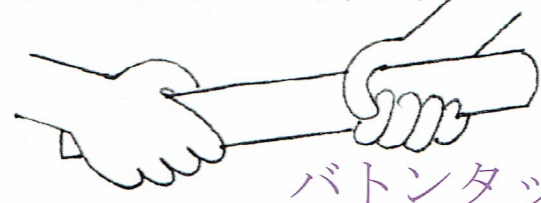
思い起こせば、森本会長の後を継いだ細見会長が体調をくずされ、副だった私が会長代行を3年近くさせて頂いている中、会長という大役を受けて十数年、未熟ながら会員の皆様と一つ一つの行事を遂行して参りました。

この度は谷口会長にバトンタッチ出来たこと、全ての皆様に感謝申し上げます。全ての先人達のご冥福を祈り、感謝のかぎりです。

谷口会長を中心に最強の島田地区連合会となりますことを確信しております。



島田地区連合会



バトンタッチ



会長就任のご挨拶 新会長 谷口 幸雄

この度、木田前会長の後任を拝受し、僭越ながら歴史ある島田地区連合会会長に就任させて頂きました。

今日まで木田前会長は、数々の行事を通じ、地域の交流や発展に高齢の中、自らの生活を顧みず、会員の皆さんの為に献身的に取り組まれたことに対し、厚く感謝と御礼を申し上げます。今後は健康にご留意されながら温かく見守って頂きたいと存じます。

コロナ禍で地域行事がほとんど開催出来ない時期が続いておりますが、島田地域に置かまはは少子高齢化が進み、諸課題がまだまだ山積みです。

公民分館や社会福祉協議会などの皆さんと更なる連携を取りながら、皆さんの安全・安心を最優先に頑張りたいと思います。

最後に、皆さんにお願いがあります。地震や火災など、いざという時に支え合うのは地域だと思います。地域組織はそのためにあると思います。どうか、自治会への参加・加入を宜しくお願い致します。



コロナ禍で出来た事 親和自治会 坂元 よし子

いつもは6月と9月に町内会の美化清掃を行っていましたが、コロナ禍で出来ず、通学路には犬の糞が多くなり汚く、見かねて近所の方と2人で草を引き、糞を綺麗に掃除しました。そして市役所に電話をして、「犬の糞を放置しないで下さい」の看板を付けて頂いたら、今はすっかり減りました。たまにあります、綺麗になりました。

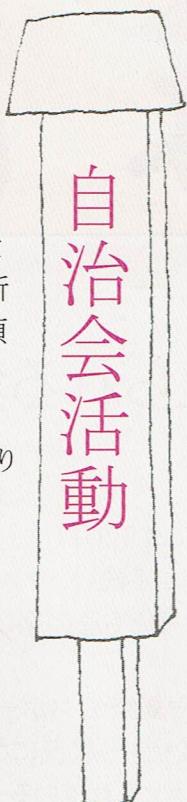
美化清掃は大事です。今も私は毎月1回、空き地、空き家の廻りの草引きをしています。一人でも出来ます。美化清掃でコロナ禍を乗り越えましょう。



町並み



宝町公園(たこ公園)



皆さんとともに 栄一会 小田 諭



地域猫

我が栄一会は、細長い島田地区の北にあり栄町1丁目の半分にあたる27世帯で構成されています。前会長の竹中さんより引き継いで4年半になりますが、まだまだ至らない事が多く、会の皆様にご迷惑をお掛けしている次第です。

私が芦屋から引っ越して来た26年前は、周りに子ども達も多く、夏祭りやふとん太鼓、餅つきなどにぎやかだった事を思い出します。近年その子ども達も巣立って行き、高齢化の波には勝てず会の運営もままならない状態ですが、皆さんお元気で様々な活動をされています。

しかしながらここ2年は、コロナ禍で行事や催物などが中止・延期となり寂しい思いをされています。自治会長として何が出来るかわかりませんが、皆さんのご協力を得てお役に立てればと思っています。ともあれ一日も早く元の生活に戻れるよう願っています。



噴水公園

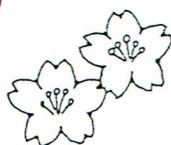


景観水路緑道

地域老人会紹介⑤



「宝寿会」
会長 石田 精市



私達の宝寿会は、宝町1丁目から2丁目、3丁目の地域を主として構成されています。昭和57年1月に出来たシニアクラブ(SC)は、もう40年も経ちました。昭和から平成の中頃までは、平均年齢も若く、色々趣味の会も活発にしていたようです。また、日帰りバス旅行や、公園の清掃、雑巾作り、新年会にはカラオケやビンゴゲーム等で楽しく元気に活動していました。

平成20年頃からは、会員も少しずつ減少しました。現在、平均年齢は高くなりましたが、公園の清掃や新年会、社会見学などは続けています。また、グランドゴルフ大会には毎回参加しています。コロナ禍にあつて何度も中断しましたが、地域包括支援センター(幸町分室)のご指導のもと、地域の方々と一緒に毎週金曜日には宝センターで、パワーアップ体操を行っています。

今後の一番の課題は会員の増強にあります。宝寿会への入会を是非ご検討下さい。お待ちしております。



栄一会
北栄会
一栄会
島田実行組合
消防団島田班



編集後記

年末には収まった新型コロナ、そろそろ元の活動が出来るかと思いきや、年始からの勢いはまるでジェットコースターの様です。次年度は心置きなく活動報告が出来ますよう切望します。新聞作成にご協力頂きました皆様にお礼申し上げます。

庄内神社秋季祭礼参加



島田太鼓保存会
会長 田中 勝宏

島田太鼓は島田実行組合と島田太鼓保存会で運営しています。百年近い歴史を持つ太鼓でしたが、長年の使用による傷みも多く修復が必要だったので、彫り物等をそのまま残し令和2年に有志にてリニューアルしました。

令和2年の庄内神社秋季祭礼にてお披露目し祭礼を盛り上げる予定でしたが、コロナ禍で秋季祭礼が中止となったため、残念ながら島田太鼓のお披露目、展示、運行も中止することになりました。

令和3年は、秋季祭礼がコロナ感染防止対策も十分行いながら規模縮小ながらも行われ、据太鼓で島田太鼓を無事に展示、運行、庄内神社への宮入まで行えました。この期間たくさんの方々が見に来られ、一時でしたが少し明るい街並みが戻ったように思えました。来年の祭礼にはさらに賑やかにしたいと思います。



島田太鼓



島田稲荷神社の由来

島田実行組合 岸岡 清

島田太鼓山車が太鼓保存会のお世話で修復され、昨年の9月に披露されました。この機会に、島田地域の氏神様の由来をご紹介します。

氏神社は稲生神社と称し、現在は名神インターチェンジの中にある址に記念碑だけが建っています。その歴史は古く、我が家に伝わる文章「郷土史績」には「稲生神社は部落の西南字五枚田にあり、……、二条天皇御宇長寛二年平安城伏見より稲荷神霊を勧請奉祀し来り。」と言う記述を見ることが出来ます。今から、約860年前に伏見稲荷大社から分祀された事になります。その後、明治39年の勅令により庄内六村社の神社が合祀され、現在は庄内神社に他村の氏神様と一緒に祀られています。

合祀されて以降、秋の大祭として庄内地区全体のお祭りが営まれ、神様のご加護を先導する現在の形式の太鼓山車が使われるようになったと推測されます。(長寛二年:西暦1164年)

